

(任)日本地質学会 2009 年度第 3 回理事会議事録

2009 年 8 月 21 日

日本地質学会

会長 宮下純夫

期 日：2009 年 8 月 10 日（月）13:00～15:30

場 所：地質学会事務所

出席者：宮下会長，高木副会長，佃副会長，渡部常務理事 藤本副常務理事 井龍 上砂 倉本  
齋藤 坂口 久田 藤林 向山 矢島 各理事，橋辺（事務局）

欠席者：小嶋 石渡 岩森

\* 成立員数（12/17）に対し，出席者 14 名，委任状 3 名，欠席者 0 名で，理事会は成立。

\* 前回議事録の承認

○報 告

1. 運営財政部会（部会長-上砂，向山，倉本，坂口）

総務委員会（委員長-上砂）

報告事項

- ・ 日産科学振興財団より，日産科学賞の候補者推薦募集（応募期間 8/1-9/15）→ News, HP に掲載済
- ・ 大学女性協会「守田科学研究奨励賞」候補者募集（応募締切 11/30）→ News, HP に掲載済.
- ・ 学術振興会より，アジア留日経験研究者データベースの運用開始についての周知とデータベースへの登録案内 → News, HP に掲載済
- ・ 地質地盤情報協議会，GUPI, 全地連の 3 団体連名での，地質地盤情報に関するアンケートについては，運営財政部会で回答する.

会員関係（担当理事 向山）

1) 入会者 6 名（正 2，正院割 2，準 2）

（正）上栗伸一 飯泉克典（院割） 山本阿子 三浦 悟（準）伊藤圭太 本多 剛

2) 退会者 4 名（正 4）

（正）石本詔久 兼田 心 小森長生 山本勝也

3) 7 月末日会員数

賛助 30，名誉 75，正 4215（うち院 208），準 30，合計 4350（前年同期比 $\uparrow$ -104）

会計関係（担当理事 向山）

- ・ フォトコンテストの宣伝費などは事業関連経費として支出

広報委員会（担当理事 倉本=情報特任・坂口）

- ・ フォトコンテストの広報に関して、名古屋市の創和広告㈱から新聞広告掲載の飛び込み営業があった。新聞の都合で、8月10日版の1ページを特価（10万円）で提供できるとのことであった。理事会および共催団体のIYPE日本で検討の結果、掲載することとした。媒体：サンケイ新聞（東海・北陸・九州版）約8万部

## 2. 学術研究部会（部会長-石渡）

行事委員会（担当理事・委員長 斎藤）

- ・ 岡山大会については、現地中心に順調に準備は進んでいる。

## 3. 編集出版部会（部会長-久田，小嶋，岩森，井龍）

地質学雑誌編集委員会（委員長 久田 副委員長-小嶋，岩森=企画担当）

今月の編集状況は以下の通り。（8月7日現在）

115-08月号：論説3 短報2 報告1（60ページ・校正中）

115-09月号：特集号「プレート沈み込み帯と地震（世話人：廣野哲朗ほか）」（85ページ・入稿準備中）

- ・ 2009年度投稿論文 総数38編 [論説19（和文19），総説3（和文3）短報13（和文12 英文1），ノート2（和文2）報告1（和文1）] 口絵6（英文3・和文3）。投稿数昨年比 -56（注：2008年は、8月までに6件の特集号投稿があり、投稿数が大幅に増加した）査読中59編。受理済み26編（うち通常号8 特集号18）。
- ・ 9月号掲載分より、新規則適用開始。著者に引用文献欄・図表キャプションの英文科について、各著者に随時連絡・修正依頼を行っている。ニュース誌7および8月号で引き続き広報中。
- ・ トムソン社への英文レターを業者に添削依頼中。（見積金額¥7,875）
- ・ 新規則を翻訳を業者に翻訳依頼中（8/10納品予定 見積金額¥181,440）

Island arc 編集委員会（担当理事 井龍，事務局長 竹内圭史・角替敏昭）

- ・ IAR 編集状況について
- ・ IAR の著作権の管理方針，（CTA）の導入について

企画出版委員会（担当理事 藤林）

- ・ リーフレット企画提案書案，原稿提出書案，査読用紙，著作権譲渡同意書案等の作成

## 4. 普及教育事業部会（部会長-矢島，藤林）

特になし

## 5. 各委員会等

ジオパーク支援委員会（委員長 天野）

- ・ 岡山大会のワークショップ，日本ジオパークネットワークより共催承諾。当ワークショップ

では、準備中や考慮中の地域からの個別相談コーナーを設ける。

- ・ポスター校正刷りの確認，刷り上がりは月末を予定．8月下旬の世界ジオパーク委員会の決定も反映させる．

法務委員会（担当理事・委員長 上砂）

- ・8/9開催の法務委員会の内容を説明

名誉会員推薦委員会（委員長・担当理事 佃副会長）

- ・名誉会員の位置づけや基準などについて，12月の評議員会で議論できるよう推薦委員会で方向性を検討

6. NPO 地学オリンピック日本委員会（久田）

- ・9月14日より台湾大会が開催され，11名の代表団（名誉団長：上田誠也，学生4名）を派遣
- ・2012年の日本開催の準備を行うことを委員会として決定

7. 日本学術会議（佃）

- ・第四紀問題 8月22日に IUGS 分科会 INQUA 分科会と今年度中にシンポジウムを開催し，学術会議としてのメッセージを出す予定→地質学会の検討と連携させるようにする．
- ・IUGS E-Bulletin Episode の編集長が中国からインドに移った．第四紀問題の記事も掲載．

## ○審議事項

1. IAR の著作権の管理方針，Copyright Transfer Agreement (CTA) の導入について

査読前版の著者による使用は認められるが，出版社が関与した査読済み採択版や査読済み版，最終印刷版などの使用については，機関レポジトリへの掲載などができないなどの制限がかかるようになる．近年の流れであり，承諾．

2. リーフレット関連，書類案について

- ・大筋で原案を了承．企画出版委員会が，地質学雑誌でいえば編集委員会的な性格を持ち，査読などに責任を持つ．企画出版委員は，高橋（正樹）会員（委員長）のほか，竹之内会員，植木会員，高清水会員を予定．古生物分野などで若干の補充予定．
- ・新しい企画として清川会員より地質年代表の作成が提案された．→坂口理事と清川会員を中心に具体案を検討．
- ・IUGS の International stratigraphic chart を和訳し，学会ウェブサイトに掲載するよう国際地質年表を和訳してHPに掲載するよう地層名委員会に依頼（担当井龍理事）

3. 小澤賞，柵山賞の表彰文について

文案を決定.

4. IYPE の最終イベントである惑星地球リスボン式典 2009 への派遣学生推薦の件

- ・ 8 月 10 日までに派遣学生の応募はなかったために新潟大学+早稲田大学で候補者の推薦を検討, 調整する.

5. 第四紀境界問題について

- ・ 「状況の把握と国内外の諸機関等との協議を行い学会員に広報すると共に, 日本地質学会としての対応方針の検討案を作成する」といった内容のお願いを, 地層名委員会天野委員長に理事会より諮問する.
- ・ 答申の概要 (中間報告) を 1 2 月の評議委員会にご説明いただく. 対応方針検討案の提出を本年度末とする. なお, 学会内の協議において, 関連する各専門部会, 研究委員会等を含めることとする.
- ・ 理事会の対応は井龍理事とする.
- ・ 学術会議とも連携する.
- ・ 地質学雑誌や Island Arc においては, 当面, 著者によって新旧どちらの基準に従うかを明記するようにする. 編集後記でこの取り扱いについて知らせる.

6. その他

- ・ 資源地質学会から申し出のあった花崗岩巡検の DVD の岡山大会での販売は, 従来の書籍などの委託販売に準じて行う.

以上